

所沢市立小手指中学校 グランドデザイン

埼玉県教育行政推進施策

～令和5年度最重要課題・抜粋～

- 「確かな学力の育成」
- 「豊かな心の育成」
- 「健やかな体の育成」

学校教育目標

主体的にたくましく生きる生徒

- 自ら学び正しく判断できる生徒
- 自主的で協調性のある生徒
- 心豊かにたくましい生徒

所沢市の教育の基本理念

みんなが持っている三つの“宝”を掘り起こして大きく育てます。

- ① 心身のたくましさ
- ② 未来を拓く知恵
- ③ ふるさと所沢を愛する心



小手指中学校の校章は、平和のシンボルである鳩の中に小手指の「小」の字を配し、鳩が羽を広げて「中」の字を持ち上げている様子をあらわしている。

校章の形状は小手指中が隣接している北野天神社の紋所(もんどころ)である『梅鉢(うめばち)』の形に由来する。

校章のデザインは、昭和23年度卒業の大館武能先輩の図案をもとに作成された。

学校経営方針

- (1) 教育公務員としての使命と責任を認識し、組織で働く学校づくりを推進する。
- (2) 温かみと厳しさの両面を備え、信頼に基づく生徒指導を推進する。
- (3) 授業の充実と調和のとれた教育活動を推進する。
- (4) 安全・安心で潤いのある心励ます教育環境づくりを推進する。
- (5) 家庭・地域や小学校との連携や交流を図り、開かれた学校づくりを推進する。

小手中魂(こてちゅうだましい)

小手指中学校の生徒が、困難に立ち向かう時の心のはたらき(精神)のことである。

困難を乗り越えることで、自分の弱さに打ち克ち、自分の限界に挑戦し、自分自身を成長させることができる。

小手中魂を磨き、高めることは、「本気で全力で取り組む」「自分の持っている力を全部出きる」「仲間を信じて最後までやり抜く」「仲間を励まし、ともに困難に立ち向かう」ことである。

【学校経営の重点】

- 1 学校力(チーム小手中)・教師力(授業力)の向上
- 2 全ての教員で、全ての生徒を育てる
- 3 いじめ根絶・不登校解消に向けた、生徒指導・教育相談の推進

本年度の指導の重点・努力点

(1) 学習指導の充実

- ① わかる授業の実施
→ 学び創造アクティブPLUS
- ② 授業の約束(学習規律)を遵守
- ③ 主体的・対話的で深い学び
- ④ ICTの有効活用
- ⑤ 学力・体力の実態把握と向上できる工夫

(2) 生徒指導・教育相談の充実

- ① 不登校生徒の解消に向けた体制
- ② いじめ・暴力行為の絶無
- ③ 生徒会活動・学校行事・部活動を通して、主体的な心の育成
- ④ 基本的な生活習慣の育成
- ⑤ 三者相談・二者相談・生活アンケートの利用

(3) 心の教育の推進

- ① あいさつ、授業、給食、清掃等、日々の日常生活での「気配り」「目配り」
- ② 体験活動、ボランティア活動の実施
- ③ 道徳・学級活動の充実
- ④ 人権教育の実施
- ⑤ 三大行事(体育祭・合唱祭・三年生を送る会)を通して、**小手中魂の育成**

(4) 学習環境の整備

- ① 教師の影響力の認識
- ② 言語環境の整備
- ③ 言葉遣い、あいさつ、掲示物の工夫
- ④ 教室経営、清掃活動、奉仕活動
- ⑤ 危険箇所の点検と除去、破損箇所の補修

(5) 学校・保護者・地域の連携

- ① 家庭・地域との、前向きな連携
- ② 苦情、苦言への対応
- ③ 連絡・報告・相談を徹底
- ④ 小手指小、上新井小との連携・交流
- ⑤ PTA、愛校会、学校評議員の意見、評価の活用